

「どれ、見せてみる。」

と言って、とった魚を入れて沼にひたしておいたはげごを、水からあげて見ました。

「お、だいぶつったな。ここからばかりつったのか？」

「そうだよ。」

「ほら、またひいているぞ。」

と、お参り途中で、釣見物つりけんぶつです。一緒に来た者が、

「おい、だんだん行くべで。」

「ああ、そうだな。行かんなんねえな。」

と、立ちあがり、あらためて沼を見ました。きれいな湧水（わきみず）の沼でしたが、底には泥のたまっている沼でした。

今まで、何回となくこの道を、仕事などで、高田や新鶴へと往いき来きしていたのですが、ここに沼のあることを、気にとめないでおりました。